

令和3年度高知県ひとり親家庭等実態調査の概要について

1 調査の概要

	令和3年度	平成27年度
(1)調査期日	令和3年8月1日	平成27年8月1日
(2)調査対象	令和3年6月末時点の児童扶養手当受給資格者世帯及び令和3年3月末に児童が18歳に到達したことにより受給資格を喪失した世帯	県内の母子家庭及び父子家庭（配偶者のいない女性(男性)と現にその扶養を受けている20歳未満の児童のいる世帯）
(3)調査票配布数及び回収状況		
配布数	8,218世帯	4,906世帯
有効回答数	3,371世帯	1,750世帯
有効回答率	41.0%	35.7%
(4)調査対象の選定方法	<p>①令和3年6月末時点の児童扶養手当の受給資格を有する者の世帯の全数を選定。</p> <p>②令和3年3月末に児童が18歳に到達したことにより児童扶養手当の受給資格を喪失した世帯の全数を選定。</p>	<p>①母子家庭：無作為抽出 県から調査対象世帯数を市町村に提示し、市町村は、住民基本台帳の情報を用いて、平成27年6月1日現在居住する母子世帯の中から無作為抽出。</p> <p>②父子家庭：全数 市町村は、住民基本台帳等の情報を用いて、平成27年6月1日現在居住する父子世帯を選定。</p>
(5)調査項目	<p>前回及び全国との比較を可能とするため、前回と同様の調査項目を基本としたうえで、新たに下記の項目を追加</p> <p><u>2 経済の状況</u> ・家計の状況、養育費、面会交流に関する詳細項目を追加</p> <p><u>8 新型コロナウイルス感染症の影響</u> を大項目に追加</p>	<p>1 世帯及び本人の状況</p> <p>2 経済の状況</p> <p>3 住宅の状況</p> <p>4 職業の状況</p> <p>5 健康・医療の状況</p> <p>6 子どもの養育・教育の状況</p> <p>7 制度の利用状況</p> <p>8 その他</p>

※調査結果における「前回調査との比較」については、母集団及び回答数が異なるため、参考値として掲載

調査結果の概要

1 世帯の状況

- 母子・父子家庭ともに、子どもの数は約半数が1人で、約3割が2人。
子どもの年齢は、約3割が小学生、約4割が中高生、就学前は1割程度。
- 三世帯同居世帯は、母子・父子家庭ともに前回の平成27年度調査より減少しているが、母子家庭21.2%、父子家庭37.5%と、一般世帯と比べるとかなり高い割合。
- ひとり親家庭になった原因は、母子家庭では未婚が増加し12.8%、父子家庭では死別が減少し離婚が増加。

子どもの数

	回答数	1人	2人	3人以上	無回答
母子家庭	3,094	55.7%	30.9%	11.2%	2.3%
父子家庭	256	51.2%	30.5%	14.9%	3.5%

子どもの就学・就労状況

	回答数 (子どもの数)	小学校 入学前	小学生	中学生	高校生	その他 (専門学校、 就労等)	無回答
母子家庭	4,790	14.3%	32.4%	20.7%	20.9%	9.5%	2.2%
父子家庭	409	8.1%	30.1%	24.0%	27.1%	8.1%	2.7%

三世帯同居率

	年度	回答数	三世帯世帯
母子家庭	R3	3,094	21.2%
	H27	1,118	24.6%
父子家庭	R3	256	37.5%
	H27	632	43.8%

【参考】一般世帯における比率(国勢調査)

	年度	三世帯世帯
高知県	R2	3.4%
	H27	4.5%
全国	R2	4.2%
	H27	5.7%

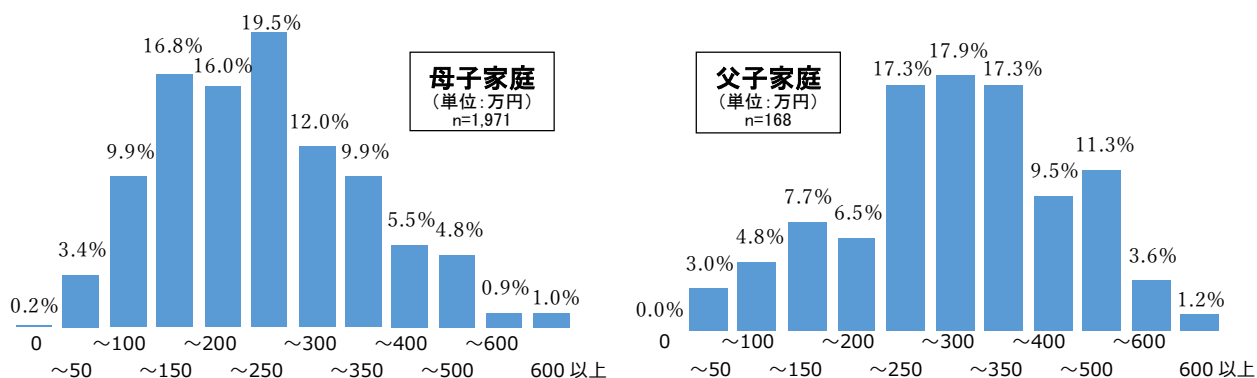
ひとり親家庭になった原因

	年度	回答数	離婚	未婚の 母又は父	死別	その他	無回答
母子家庭	R3	3,094	82.1%	12.8%	0.8%	2.5%	1.7%
	H27	1,118	82.6%	8.6%	5.8%	3.0%	0.1%
	前回との差		▲ 0.5%	4.2%	▲ 5.0%	▲ 0.5%	1.6%
父子家庭	R3	256	88.0%	1.6%	5.9%	2.8%	2.0%
	H27	632	82.8%	0.9%	13.6%	2.5%	0.2%
	前回との差		5.2%	0.7%	▲ 7.7%	0.3%	1.8%

2 経済の状況

(1) 就労収入の状況

- 母子家庭の年間就労収入(税込)は「200~250万円未満」が最多で、半数の52.3%が「100~250万円未満」の階層に当てはまる。また、200万円未満の階層が46.3%と父子家庭に比べ高い割合となっている。
- 父子家庭は、自身の年間就労収入は「250~300万円未満」が最多であり、52.5%が「200~350万円未満」の階層に当てはまる。200万円未満の階層は22.0%である。



自身の年間就労収入（回答世帯のみ集計、税控除前の額）

	年度	回答数	収入なし	50万円未満	50～100万円未満	100～150万円未満	150～200万円未満	200～250万円未満	250～300万円未満	300～350万円未満	350～400万円未満	400～500万円未満	500～600万円未満	600万円以上
母子家庭	R3	1,971	0.2%	3.4%	9.9%	16.8%	16.0%	19.5%	12.0%	9.9%	5.5%	4.8%	0.9%	1.0%
	H27	825	6.4%	3.0%	10.5%	19.8%	17.1%	13.6%	8.5%	5.3%	4.0%	5.3%	2.5%	3.9%
	前回との差		▲ 6.2%	0.4%	▲ 0.6%	▲ 3.0%	▲ 1.1%	5.9%	3.5%	4.6%	1.5%	▲ 0.5%	▲ 1.6%	▲ 2.9%
父子家庭	R3	168	0.0%	3.0%	4.8%	7.7%	6.5%	17.3%	17.9%	17.3%	9.5%	11.3%	3.6%	1.2%
	H27	438	6.8%	2.7%	4.6%	5.7%	8.7%	14.8%	9.1%	9.8%	7.1%	11.0%	7.1%	12.6%
	前回との差		▲ 6.8%	0.3%	0.2%	2.0%	▲ 2.2%	2.5%	8.8%	7.5%	2.4%	0.3%	▲ 3.5%	▲ 11.4%

(2)家計の状況

- 家計の状態は、母子・父子家庭ともに「とても苦しい」と回答した世帯は前回調査から7～10%減少しているものの、7割以上が「やや苦しい」「とても苦しい」と回答。
- また、過去1年間に、お金が足りずに家族に必要な食料品・衣類等を買えない経験が「よくあった」「ときどきあった」世帯の割合は2割超、光熱水費等の未払い経験があった世帯の割合は1割前後と、苦しい経済状況が窺われる。

家計の状態

	年度	回答数	余裕がある	やや余裕がある	普通	やや苦しい	とても苦しい	無回答
母子家庭	R3	3,094	0.5%	1.2%	24.9%	43.6%	28.5%	1.3%
	H27	1,118	1.3%	1.7%	19.9%	39.4%	36.2%	1.4%
	前回との差		▲ 0.8%	▲ 0.5%	5.0%	4.2%	▲ 7.7%	▲ 0.1%
父子家庭	R3	256	0.8%	0.8%	19.1%	50.8%	27.0%	1.6%
	H27	632	1.4%	1.6%	23.1%	35.4%	37.7%	0.8%
	前回との差		▲ 0.6%	▲ 0.8%	▲ 4.0%	15.4%	▲ 10.7%	0.8%

過去1年間に、お金が足りずに購入できなかった経験

	年度	回答数	品目	よくあった	ときどきあった	まれにあった	まったくなかった	必要なことに気づかなかった	無回答
母子家庭	R3	3,094	食料品	7.2%	16.7%	22.0%	53.1%		1.1%
父子家庭		256		3.9%	16.8%	23.4%	53.5%		2.3%
母子家庭	R3	3,094	衣類	9.4%	16.6%	23.9%	48.9%		1.1%
父子家庭		256		5.9%	14.1%	27.0%	51.2%		2.0%
母子家庭	R3	3,094	日用品 (※)	6.1%	13.8%	19.3%	58.3%	1.3%	1.1%
父子家庭		256		3.1%	12.1%	19.9%	58.6%		4.3%

(※) 子ども用の市販薬や下着、子どもの生理用品など

過去1年間に、経済的な理由で光熱水費等が未払いになった経験

	年度	回答数	電気料金	ガス料金	水道料金	家賃	無回答
母子家庭	R3	3,094	10.7%	11.5%	9.7%	10.3%	79.8%
父子家庭		256	9.8%	9.8%	5.1%	8.6%	81.3%

(3) 養育費の状況

- 母子家庭の40.5%、父子家庭の23.6%が取り決めをしているが、「現在受け取っている」と答えた世帯は、母子家庭25.9%、父子家庭7.0%となっている。母子家庭の受け取っている年額は「25～36万円」が最多で、平均額は40万円。
- 取り決めをしていない理由は「相手と関わりたくない」が最多で、養育費は子どものための費用だが、親の感情も少なからず影響している。また、母子家庭では「相手からの身体的・精神的暴力」を理由に取り決めをしていない割合が4.7%。

養育費の取り決め状況（離婚、未婚世帯のみ回答）

	年度	回答数	取り決めをしている	取り決めをしていない	無回答
母子家庭	R3	2,940	40.5%	57.7%	1.8%
父子家庭		229	23.6%	74.7%	1.7%

【参考】H28全国ひとり親世帯等調査

取り決めをしている	取り決めをしていない	無回答
42.9%	54.2%	2.9%
20.8%	74.4%	4.9%

養育費の受給状況（離婚、未婚世帯のみ回答）

	年度	回答数	現在受け取っている	過去に受け取ったが現在受け取っていない	コロナの影響で受け取れなくなった	受け取ることがない	無回答
母子家庭	R3	2,940	25.9%	11.9%	0.9%	56.9%	4.4%
父子家庭		229	7.0%	3.9%	0.4%	84.3%	4.4%

【参考】H28全国ひとり親世帯等調査

現在受け取っている	受け取っていたことがある	受け取ったことがない	無回答
24.3%	15.5%	56.0%	4.2%
3.2%	4.9%	86.0%	5.8%

養育費の年額

	年度	回答数	0～12万円	13～24万円	25～36万円	37～48万円	49～60万円	61～99万円	100万円以上	無回答	年間平均(万円)
母子家庭	R3	1,111	21.1%	17.3%	23.2%	12.9%	10.1%	11.9%	3.5%	0.1%	40.0
父子家庭		25	28.0%	44.0%	12.0%	-	16.0%	-	-	-	27.0

取り決めをしていない最大の理由

	年度	回答数	自分の収入で経済的に問題ない	相手と関わりたくない	相手に支払う意思がないと思った	相手に支払う能力がないと思った	取り決めの交渉がわづらわしい	相手から身体・精神的暴力を受けた	交渉したがまとまらなかった	子どもを引き取った方の負担と想っていた	現在交渉中又は今後交渉予定	養育費を請求できることを知らなかった	その他	無回答
母子家庭	R3	1,670	2.2%	30.5%	20.0%	19.3%	4.9%	4.7%	4.5%	0.6%	0.5%	0.1%	6.3%	6.5%
父子家庭		168	10.1%	29.2%	12.5%	19.0%	6.0%	0.6%	2.4%	1.2%	0.6%	0.6%	7.1%	10.7%

3 住宅の状況

- 父子家庭は持家が42.2%と約4割、民間の賃貸が23.0%と約2割だが、母子家庭では持家が21.6%と約2割、民間の賃貸が38.8%と約4割になっている。

住宅の状況

	年度	回答数	持家(一戸建て)	持家(マンション)	公営住宅	民間の借家・マンション・アパート	社宅	親の家に同居	親族家に同居	その他・無回答
母子家庭	R3	3,094	18.9%	2.7%	16.0%	38.8%	0.5%	15.7%	1.8%	5.5%
	H27	1,118	20.9%	3.1%	12.3%	36.9%	0.6%	18.7%	2.7%	4.7%
	前回との差		▲2.0%	▲0.4%	3.7%	1.9%	▲0.1%	▲3.0%	▲0.9%	0.8%
父子家庭	R3	256	41.8%	0.4%	10.2%	23.0%	0.8%	15.6%	2.3%	5.9%
	H27	632	45.3%	3.2%	7.3%	18.7%	1.7%	18.2%	3.2%	2.5%
	前回との差		▲3.5%	▲2.8%	2.9%	4.3%	▲0.9%	▲2.6%	▲0.9%	3.4%

4 職業の状況

- 雇用形態では、「正社員・正職員」の割合は母子家庭が46.0%、父子家庭が62.1%となっており、勤めに出ている方のみでは母子家庭53.7%、父子家庭87.4%の割合。
- 仕事の内容は、母子家庭は「専門的・技術的職業」（看護・介護・保育等）が最多で25.1%。父子家庭は「建設・採掘」が最多で19.4%。
- 仕事に関して望む支援は、母子・父子家庭ともに「技術・資格取得の支援」が最多で約3割、次いで「仕事の紹介」となっている。

現在の雇用形態

	年度	回答数	正社員・ 正職員 (常勤)	臨時職員 (常勤)	パート・ アルバイト	労働者派 遣事業所 派遣社員	会社など の役員	自営業	家族 従業者	無職	その他	無回答
母子家庭	R3	3,094	46.0%	7.7%	27.5%	2.5%	0.4%	3.5%	0.5%	7.7%	2.8%	1.3%
	H27	1,118	49.0%	10.7%	22.6%	-	-	4.5%	1.5%	7.7%	5.7%	0.6%
	前回との差		▲ 3.0%	▲ 3.0%	4.9%	-	-	▲ 1.0%	▲ 1.0%	0.0%	▲ 2.9%	0.7%
父子家庭	R3	256	62.1%	1.6%	5.9%	0.4%	1.2%	15.2%	2.7%	6.6%	1.2%	3.1%
	H27	632	59.7%	4.1%	2.5%	-	-	18.4%	0.5%	9.8%	4.3%	2.1%
	前回との差		2.4%	▲ 2.5%	3.4%	-	-	▲ 3.2%	2.2%	▲ 3.2%	▲ 3.1%	1.0%

【参考】現在の雇用形態（勤めに出ている方みの割合）

	年度	回答数	正社員・ 正職員 (常勤)	臨時職員 (常勤)	パート・ アルバイト	労働者派 遣事業所 派遣社員	その他
母子家庭	R3	2,650	53.7%	9.0%	32.2%	2.9%	2.2%
父子家庭		182	87.4%	2.2%	8.2%	0.6%	1.6%

【参考】県内の雇用者の男女別雇用形態（H29就業構造基本調査）

	正規の 職員・ 従業員	非正規の 職員・ 従業員	パート	アルバ イト	労働者派遣 事業所の 派遣社員	契約 社員	嘱託	その他
女性	51.5%	48.5%	29.3%	6.2%	1.2%	6.9%	1.7%	3.3%
男性	78.2%	21.8%	4.6%	6.2%	0.4%	5.7%	2.3%	2.7%

仕事の内容（勤めに出ている方みの割合）

	年度	回答数	管理的 職業	専門的・ 技術的 職業	サービス 職業	事務	販売	農林水 産業	保安職業	生産工程	運輸・ 機械 運転	建設・ 採掘	運搬・ 清掃・ 包装等	その他	無回答
母子家庭	R3	2,843	0.5%	25.1%	19.4%	20.8%	11.6%	1.0%	0.1%	5.5%	0.7%	1.0%	2.1%	8.3%	3.9%
	H27	970	0.6%	29.1%	19.1%	23.4%	10.3%	0.8%	0.2%	5.4%	0.1%	0.7%	2.7%	7.0%	0.6%
	前回との差		▲ 0.1%	▲ 4.0%	0.3%	▲ 2.6%	1.3%	0.2%	▲ 0.1%	0.1%	0.6%	0.3%	▲ 0.6%	1.3%	3.3%
父子家庭	R3	232	3.0%	6.9%	11.2%	4.3%	9.9%	7.3%	-	10.8%	9.1%	19.4%	4.3%	9.1%	4.7%
	H27	438	5.5%	10.3%	5.9%	8.7%	12.6%	3.0%	2.5%	9.4%	7.3%	21.9%	3.7%	8.2%	1.1%
	前回との差		▲ 2.5%	▲ 3.4%	5.3%	▲ 4.4%	▲ 2.7%	4.3%	-	1.4%	1.8%	▲ 2.5%	0.6%	0.9%	3.6%

仕事に関して特に望む支援

	年度	回答数	就労支援					子育て支援					その他	無 回答
			仕事の 紹介	技術・資 格取得の 支援	職業訓練 の機会 の充実	訓練受講 時の経済 的支援	仕事に 関する 相談窓口 の充実	ホーム ヘルパー 等の派遣	保育所・ 幼稚園等 の整備	放課後 児童クラブ (学童保育) の整備	延長夜間 休日保育 の充実	病児保育 の充実		
母子家庭	R3	3,094	18.2%	31.3%	8.0%	17.9%	8.7%	0.8%	3.7%	8.5%	10.1%	11.6%	4.7%	23.6%
	H27	1,118	16.7%	32.5%	7.5%	21.9%	8.0%	1.0%	3.5%	8.8%	11.4%	12.9%	4.1%	22.5%
	前回との差		1.5%	▲ 1.2%	0.5%	▲ 4.0%	0.7%	▲ 0.2%	0.2%	▲ 0.3%	▲ 1.3%	▲ 1.3%	0.6%	1.1%
父子家庭	R3	256	16.4%	28.1%	3.5%	6.6%	6.3%	-	2.0%	4.3%	5.5%	5.1%	5.5%	43.4%
	H27	632	11.6%	24.2%	3.5%	10.3%	8.4%	1.4%	2.4%	5.1%	4.1%	2.2%	8.2%	41.5%
	前回との差		4.8%	3.9%	0.0%	▲ 3.7%	▲ 2.1%	-	▲ 0.4%	▲ 0.8%	1.4%	2.9%	▲ 2.7%	1.9%

5 健康・医療の状況

- 母子家庭の31.1%、父子家庭の22.7%が、「病気ではないが過労気味」と回答。
- 自身が病気するとき「世話をしてくれる人はいない」と回答した割合は、母子・父子家庭ともに前回調査から増加し、母子家庭では約3割となっている。
- 子どもが病気のために主に世話をしてもらう人は、母子・父子家庭ともに「同居の親族又は別居の親族」が10%以上減少し、「あなた（保護者本人）」が10%以上増加。また、「子どもの世話」について頼れる人がいない世帯が1割以上となっている。

健康状態

	年度	回答数	健康	病気ではないが過労気味	身体が弱く病気がち	通院中	入院中	その他	無回答
母子家庭	R3	3,094	46.4%	31.1%	3.4%	16.2%	—	1.7%	1.2%
	H27	1,118	44.7%	32.4%	3.8%	15.7%	—	2.3%	1.1%
	前回との差		1.7%	▲ 1.3%	▲ 0.4%	0.5%		▲ 0.6%	0.1%
父子家庭	R3	256	55.9%	22.7%	2.0%	15.6%	0.4%	1.6%	2.0%
	H27	632	51.7%	25.5%	2.4%	15.7%	0.3%	3.5%	0.9%
	前回との差		4.2%	▲ 2.8%	▲ 0.4%	▲ 0.1%	0.1%	▲ 1.9%	1.1%

自身が病気するとき、主に世話をしてもらう人

	年度	回答数	子ども	同居の親族	別居の親族	近所の人・友人	その他の人	世話をしてくれる人はいない	無回答
母子家庭	R3	3,094	18.4%	21.4%	27.1%	1.3%	0.8%	29.2%	1.8%
	H27	1,118	20.3%	23.8%	26.7%	1.3%	1.0%	24.7%	2.2%
	前回との差		▲ 1.9%	▲ 2.4%	0.4%	0.0%	▲ 0.2%	4.5%	▲ 0.4%
父子家庭	R3	256	16.8%	29.7%	19.5%	1.6%	2.3%	25.0%	5.1%
	H27	632	15.7%	35.3%	19.9%	0.3%	1.7%	24.1%	3.0%
	前回との差		1.1%	▲ 5.6%	▲ 0.4%	1.3%	0.6%	0.9%	2.1%

子どもが病気するとき、主に世話をしてもらう人

	年度	回答数	あなた	他の子ども	同居の親族	別居の親族	近所の人・友人	その他の人	世話を する人はいない	無回答
母子家庭	R3	3,094	84.2%	0.4%	5.3%	6.3%	0.1%	0.2%	1.9%	1.6%
	H27	1,118	71.2%	0.4%	10.2%	12.2%	0.1%	0.6%	3.8%	1.5%
	前回との差		13.0%	0.0%	▲ 4.9%	▲ 5.9%	0.0%	▲ 0.4%	▲ 1.9%	0.1%
父子家庭	R3	256	67.2%	0.8%	13.7%	10.9%	—	0.4%	1.2%	5.9%
	H27	632	54.4%	0.6%	23.1%	13.1%	0.5%	1.9%	3.3%	3.0%
	前回との差		12.8%	0.2%	▲ 9.4%	▲ 2.2%	—	▲ 1.5%	▲ 2.1%	2.9%

【参考】周囲に頼れる人がいるかどうか

		年度	回答数	いる	いない	そのことでは人には頼らない	無回答
子どもの世話	母子家庭	R3	3,094	71.8%	12.7%	8.3%	7.1%
	父子家庭		256	64.1%	11.7%	5.9%	18.4%
重要な事柄の相談	母子家庭	R3	3,094	69.8%	13.7%	8.1%	8.4%
	父子家庭		256	50.0%	22.3%	7.8%	19.9%
愚痴を聞いてくれること	母子家庭	R3	3,094	78.9%	8.2%	5.0%	7.9%
	父子家庭		256	48.0%	19.9%	10.9%	21.1%
いざという時のお金の援助	母子家庭	R3	3,094	44.1%	31.3%	16.5%	8.0%
	父子家庭		256	38.3%	29.7%	12.9%	19.1%

6 子どもの養育・教育の状況

- 子どもに関する悩みは、母子・父子家庭ともに「教育・進学」が約4割で最多、次いで「インターネットやゲーム、スマホの使用」に関する悩みが約2割となっている。
また、「思春期の子どもへの対応」に関する悩みは、父子家庭の割合が母子家庭より高い。
- 高校生の卒業後の進路希望に関しては、母子家庭では、前回調査より「大学・短大」「就職」が減少し、「専門学校」が増加、父子家庭では「大学・短大」「専門学校」が減少し、「就職」が増加している。
- 学費の調達方法は、母子家庭では前回調査に比べ「各種の奨学金等」が9.0%増えており、近年の就学支援制度の拡充により、制度の活用が進んでいる状況が見られる。

子どもに関する悩み（子どもの人数に応じて複数回答）

	年度	回答数	教育・進学	しつけ	家庭学習の習慣	スマホ・携帯の使用	インターネットやゲームの使用	思春期の子どもへの対応	食事・栄養、衣服・身の回り	就職	健康	コロナウイルス感染症の影響	非行・交友関係、いじめ
母子家庭	R3	4,842	39.0%	12.4%	11.5%	10.6%	15.1%	10.4%	9.7%	7.7%	7.5%	7.6%	4.5%
	H27	1,682	51.8%	19.5%	15.8%	8.7%	-	-	12.8%	15.0%	11.1%	-	9.4%
	前回との差		▲ 12.8%	▲ 7.1%	▲ 4.3%	1.9%	-	-	▲ 3.1%	▲ 7.3%	▲ 3.6%	-	▲ 4.9%
父子家庭	R3	391	37.9%	10.2%	12.5%	7.4%	12.5%	13.8%	11.2%	6.9%	6.6%	3.3%	4.3%
	H27	875	48.8%	17.9%	14.4%	7.1%	-	-	19.0%	19.1%	12.6%	-	7.7%
	前回との差		▲ 10.9%	▲ 7.7%	▲ 1.9%	0.3%	-	-	▲ 7.8%	▲ 12.2%	▲ 6.0%	-	▲ 3.4%

特に悩みなし	その他	無回答
16.3%	5.7%	6.8%
13.3%	7.0%	1.2%
3.0%	▲ 1.3%	5.6%
17.6%	2.6%	11.3%
13.8%	5.0%	1.3%
3.8%	▲ 2.4%	10.0%

子どもが高校を卒業した後、進ませたい進路（高校生の子どもがいる方の回答）

	年度	回答数	進学（大学・大学院まで）	進学（短大まで）	進学（専門学校まで）	就職	その他	無回答
母子家庭	R3	921	42.5%	3.5%	22.6%	20.6%	6.1%	4.8%
	H27	334	45.8%	5.4%	18.6%	23.1%	4.2%	3.0%
	前回との差		▲ 3.3%	▲ 1.9%	4.0%	▲ 2.5%	1.9%	1.8%
父子家庭	R3	102	35.3%	5.9%	15.7%	29.4%	4.9%	8.8%
	H27	227	37.9%	7.5%	19.8%	24.7%	4.0%	6.2%
	前回との差		▲ 2.6%	▲ 1.6%	▲ 4.1%	4.7%	0.9%	2.6%

学費の調達方法（高校、高専、短大、大学、専修学校等に在学している子どもがいる方）

	年度	回答数	あなた自身の収入	親戚などから援助を受けている	子どものアルバイト収入	各種の奨学金等	その他	無回答
母子家庭	R3	1,123	79.1%	4.8%	6.9%	51.9%	9.3%	3.7%
	H27	417	77.9%	7.7%	10.6%	42.9%	9.8%	4.8%
	前回との差		1.2%	▲ 2.9%	▲ 3.7%	9.0%	▲ 0.5%	▲ 1.1%
父子家庭	R3	111	79.3%	7.2%	1.8%	30.6%	12.6%	6.3%
	H27	283	76.7%	9.2%	6.7%	31.4%	7.1%	9.2%
	前回との差		2.6%	▲ 2.0%	▲ 4.9%	▲ 0.8%	5.5%	▲ 2.9%

7 制度の利用状況

- ひとり親家庭への主な支援制度や支援機関等について、「知らない」と回答した割合は、母子・父子家庭ともに前回調査と比較して多くの項目で減少したが、依然として3割前後の世帯が「知らない」と回答している。
- 調査項目4（職業の状況）において、仕事に関して望む支援は「技術・資格取得の支援」が最多であったが、各種給付金の認知度は母子家庭で6割、父子家庭では4割であり、知らない世帯の約1割は、今後利用したい意向。また、ひとり親家庭等就業・自立支援センターの「就業支援事業」は知っているが、「相談事業」は知らない世帯が1割以上となっている。
- 各種制度を知らない世帯のうち、1割程度が「今後利用したい」と回答しており、支援ニーズがある世帯に対し必要な情報が十分に届いていない状況が見られる。

母子家庭	制度等	年度	回答数	利用状況			知らない	今後利用したい	今後利用するつもりはない	無回答
				知っている	利用有り	利用無し				
ひとり親家庭等就業・自立支援センター：就業支援事業	R3	3,094	67.3%	9.4%	57.9%	22.4%	8.5%	13.9%	10.4%	
	H27	1,118	42.6%			24.5%			32.9%	
	前回との差		24.7%			▲ 2.1%			▲ 22.5%	
ひとり親家庭等就業・自立支援センター：相談事業	R3	3,094	55.3%	4.8%	50.5%	33.4%	8.2%	25.2%	11.3%	
	H27	1,118	29.0%			42.1%			28.9%	
	前回との差		26.3%			▲ 8.7%			▲ 17.6%	
自立支援教育訓練給付金	R3	3,094	61.9%	4.0%	57.9%	27.3%	11.8%	15.5%	10.8%	
	H27	1,118	34.7%			30.0%			35.3%	
	前回との差		27.2%			▲ 2.7%			▲ 24.5%	
高等職業訓練促進給付金	R3	3,094	56.8%	3.7%	53.1%	32.1%	11.3%	20.8%	11.1%	
	H27	1,118	31.4%			36.0%			32.6%	
	前回との差		25.4%			▲ 3.9%			▲ 21.5%	
職業訓練受講給付金（求職者支援制度）	R3	3,094	60.1%	9.5%	50.6%	28.7%	10.0%	18.7%	11.2%	
	H27	1,118	36.0%			31.1%			32.9%	
	前回との差		24.1%			▲ 2.4%			▲ 21.7%	
母子・父子・寡婦福祉資金貸付制度	R3	3,094	64.0%	5.5%	58.5%	25.4%	11.0%	14.4%	10.6%	
	H27	1,118	33.3%			31.5%			35.2%	
	前回との差		30.7%			▲ 6.1%			▲ 24.6%	

父子家庭	制度等	年度	回答数	利用状況			知らない	今後利用したい	今後利用するつもりはない	無回答
				知っている	利用有り	利用無し				
ひとり親家庭等就業・自立支援センター：就業支援事業	R3	256	51.6%	2.0%	49.6%	27.4%	5.9%	21.5%	21.1%	
	H27	632	21.1%			36.2%			42.7%	
	前回との差		30.5%			▲ 8.8%			▲ 21.6%	
ひとり親家庭等就業・自立支援センター：相談事業	R3	256	43.4%	1.2%	42.2%	35.1%	7.4%	27.7%	21.5%	
	H27	632	18.8%			36.7%			44.5%	
	前回との差		24.6%			▲ 1.6%			▲ 23.0%	
自立支援教育訓練給付金	R3	256	43.8%	0.0%	43.8%	34.8%	8.6%	26.2%	21.5%	
	H27	632	18.7%			38.1%			43.2%	
	前回との差		25.1%			▲ 3.3%			▲ 21.7%	
高等職業訓練促進給付金	R3	256	41.8%	0.0%	41.8%	36.7%	10.5%	26.2%	21.5%	
	H27	632	17.9%			38.0%			44.1%	
	前回との差		23.9%			▲ 1.3%			▲ 22.6%	
職業訓練受講給付金（求職者支援制度）	R3	256	44.6%	1.2%	43.4%	34.0%	8.6%	25.4%	21.5%	
	H27	632	20.0%			35.4%			44.6%	
	前回との差		24.6%			▲ 1.4%			▲ 23.1%	
母子・父子・寡婦福祉資金貸付制度	R3	256	50.0%	4.7%	45.3%	29.6%	10.5%	19.1%	20.3%	
	H27	632	22.3%			35.1%			42.6%	
	前回との差		27.7%			▲ 5.5%			▲ 22.3%	

8 新型コロナウイルス感染症の影響

- 感染症拡大の影響を受けて「失業、休業した」「仕事の量が減った」世帯の割合は、母子家庭の27.5%、父子家庭の33.6%を占めた。
- 世帯の年間収入は「大きく減った」、「少し減った（2割程度）」を合わせると、母子家庭で33.4%、父子家庭で40.2%であり、特に就労収入が150万円未満の世帯においては、収入が減った世帯が約半数にのぼる。
- 収支が悪化した世帯では、生活への影響について「精神的に不安になることが増えた」と約4割が回答し、次いで「家事や子育てのストレス増加」となっている。
- 収支の悪化への対応方法は、「節約」が約4割だが、「給付金や支援金（ひとり親世帯特別給付金等）」及び「社会福祉協議会や公的機関からの借入（生活福祉資金等）」などが、家計を下支えしている状況が見られた。

コロナによる仕事への影響

	年度	回答数	失業、休業した	仕事の量が減った	かけもちの仕事を増やした	変わらない（影響ない）	仕事の量が増えた（就職した）	もともと仕事をしていない	その他	無回答
母子家庭	R3	3,094	5.4%	22.1%	1.6%	49.6%	6.0%	5.1%	5.5%	4.6%
父子家庭		256	3.5%	30.1%	1.2%	43.0%	5.1%	4.7%	1.6%	10.9%

コロナによる世帯収入への影響

	年度	回答数	大きく減った	少し減った（2割程度）	変わらない	増えた	無回答
母子家庭	R3	3,094	11.1%	22.3%	58.6%	3.3%	4.7%
父子家庭		256	12.5%	27.7%	49.2%	0.8%	9.8%

【参考】世帯収入への影響（本人の年間就労収入階層別）

母子、父子世帯（3,350）	収入なし	50万円未満	50～100万円未満	100～150万円未満	150～200万円未満	200～250万円未満	250～300万円未満	300～350万円未満	350～400万円未満	400～500万円未満	500～600万円未満	600万円以上	無回答
大きく減った	0.0%	30.5%	22.0%	18.6%	8.6%	6.8%	5.2%	3.6%	1.6%	3.5%	4.1%	4.5%	13.0%
少し減った（2割程度）	0.0%	25.0%	33.9%	28.5%	23.6%	25.2%	20.2%	18.8%	22.4%	14.9%	4.2%	13.7%	20.7%
変わらない	75.0%	37.5%	37.3%	46.8%	61.7%	61.0%	71.2%	72.3%	66.4%	73.7%	87.5%	68.2%	54.9%
増えた	0.0%	4.2%	2.9%	2.3%	4.0%	3.9%	1.9%	3.1%	8.8%	3.5%	0.0%	13.6%	2.3%
無回答	25.0%	2.8%	3.9%	3.8%	2.1%	3.1%	1.5%	2.2%	0.8%	4.4%	4.2%	0.0%	9.1%

コロナにより収支が悪化した方の生活への影響（複数選択可）

	年度	回答数	食事の回数が減った	食事の量が減った	子どもの教育費が減った	転居した	時間の余裕がなくなった	子育てのストレスが増えた	精神的に不安になることが増えた	家事のストレスが増えた	特になし	その他	無回答
母子家庭	R3	1,961	5.3%	11.7%	6.2%	2.0%	16.0%	18.7%	41.3%	19.4%	9.4%	6.8%	25.9%
父子家庭		163	4.3%	12.3%	11.0%	0.6%	17.8%	14.7%	38.7%	19.6%	16.6%	6.7%	19.6%

収支が悪化した方の対応（複数選択可）

	年度	回答数	節約	フードバンク等の食糧援助の利用	安価な住居に転居	貯蓄の切り崩し	親戚や知人への借金	金融機関への借金	社会福祉協議会や公的機関の借入（生活福祉資金等）	給付金や支援金（ひとり親世帯特別給付金等）	特になし	その他	無回答
母子家庭	R3	1,961	47.0%	1.2%	0.9%	27.0%	6.3%	7.5%	6.8%	37.6%	4.2%	2.1%	24.6%
父子家庭		163	42.9%	0.6%	0.6%	18.4%	9.2%	7.4%	5.5%	29.4%	11.7%	0.6%	22.7%

9 その他

- 現在の悩みは、母子・父子家庭ともに「生活費」「子どものこと」が6割近く、次いで「仕事」「健康」「老後」となっている。
- 母子家庭では、前回調査より「子どものこと」が6.1%増加し、父子家庭では「住宅」が増加している。
- 行政に対する要望では、経済的支援の充実を求める割合が高く、母子・父子家庭ともに「年金・手当の増額」が最多であり、次いで「大学進学等のための奨学金の制度充実」「子どもの学習支援の充実」となっている。

現在の悩み（4つまで選択）

	年度	回答数	生活費	子どものこと	仕事	自分の健康	自分の老後	コロナウイルスへの感染	借金・ローンの返済	住宅	親族の健康・介護
母子家庭	R3	3,094	59.5%	58.9%	37.6%	29.1%	27.0%	22.6%	17.0%	16.7%	14.7%
	H27	1,118	64.6%	52.8%	39.0%	26.8%	30.8%	-	17.2%	19.3%	17.7%
	前回との差		▲ 5.1%	6.1%	▲ 1.4%	2.3%	▲ 3.8%	-	▲ 0.2%	▲ 2.6%	▲ 3.0%
父子家庭	R3	256	50.8%	53.1%	27.0%	25.0%	21.5%	16.8%	15.2%	14.5%	10.5%
	H27	632	53.5%	53.5%	31.5%	25.0%	25.8%	-	21.2%	10.0%	13.9%
	前回との差		▲ 2.7%	▲ 0.4%	▲ 4.5%	0.0%	▲ 4.3%	-	▲ 6.0%	4.5%	▲ 3.4%

再婚	家事	相談相手がない	近所・親族のつきあい	その他	無回答
4.0%	3.8%	3.1%	1.8%	4.0%	5.7%
6.0%	4.3%	2.1%	1.9%	6.0%	5.3%
▲ 2.0%	▲ 0.5%	1.0%	▲ 0.1%	▲ 2.0%	0.4%
7.4%	5.5%	5.5%	1.6%	2.0%	12.9%
13.0%	12.5%	6.0%	1.6%	2.5%	8.1%
▲ 5.6%	▲ 7.0%	▲ 0.5%	0.0%	▲ 0.5%	4.8%

行政に対する要望（2つまで選択）

	年度	回答数	特になし	就労支援			住宅支援	経済的支援				
				就職支援 職業訓練 資格取得 支援の 充実	雇用の 確保	ひとり親 家庭の方 を雇用し た事業者 優遇措置	公営住宅 への入居 の拡充	年金・ 手当の 増額	幼児教育 無償化・ 奨学金等 の教育費 負担軽減 の支援	大学進学 等のため の奨学金 の制度充 実	母子父子 寡婦福祉 資金貸付 金の充実	養育費の 確保・ 面会交流 への支援
母子家庭	R3	3,094	3.7%	8.7%	10.0%	8.9%	7.8%	44.9%	12.4%	30.8%	5.3%	3.0%
父子家庭		256	7.4%	5.5%	5.5%	9.8%	5.9%	39.1%	8.2%	30.5%	6.3%	1.6%

保育・教育への支援						相談支援		その他		
急用や 疾病時等 に子ども の世話を する人の 派遣	延長保育 など保育 サービスの 充実	放課後 児童クラブ (学童保育) の充実	就学前 からの 子どもへの 教育	子どもの 学習支援 の充実	授業や放課 後等の 子どもの 学力向上 対策の 充実	育児・教 育・結婚・ 心配ごと 等の相談事 業の 充実	定期的な 家庭訪問	コロナ ウイルス 感染症 対策への 支援	その他	無回答
5.9%	2.2%	5.9%	1.6%	11.9%	2.9%	0.5%	0.3%	6.5%	1.8%	5.4%
3.5%	1.6%	3.5%	0.4%	13.3%	2.3%	0.4%	0.4%	6.6%	1.2%	10.9%